

第2回 鶴見区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和7年2月13日（木）14時00分～15時45分
開 催 場 所	鶴見区役所6階10号会議室
出 席 者	杉山委員長、伊藤委員、坂田委員、名須川委員、渡邊委員 (指定管理者) 鶴見区民文化センター館長他
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者0人）
議 題	1 評価項目に基づく指定管理者のプレゼンテーション及び委員によるヒアリング 2 総評作成
決 定 事 項	1 評価項目に基づき、委員会としての評価を決定した。 2 業務評価報告書については、本日の委員の意見を踏まえ事務局で案文を作成し、各委員に確認した後、区長に報告及び公表することとする。
議 事	1 評価項目に基づく指定管理者のプレゼンテーション及び委員によるヒアリング (事務局) 総評のまとめ方を説明。 (委員) 了承。 指定管理者が入室し、プレゼンテーション及び委員によるヒアリングを行った。ヒアリングの主な内容は次の通り。 (伊藤委員) 「従来の会館ルールを変更した」と説明があったが、詳細について聞きたい。 (指定管理者) 当館を使用する際の要件について、これまで特に「文化・芸術に関する活動であること」という要件の解釈範囲が狭かったため、文化庁が求めている文化・芸術の考え方をスタッフと共有しながら見直しを行った。教育的な活動も文化活動に結び付けられるし、スポーツも文化に入ると考えている。 (伊藤委員) 共催のパートナーにはどのような団体がいるのか。 (指定管理者) 地元の文化団体、コンサートイベントを長年開催している方等がいる。その他、当館から提案、働きかけを行い、共催につなげている例もある。例えば、「城熱祭」は年齢問わず集客でき、市民の皆様に喜んでもらえて、文化的な要素が強いため共催とした。その他、琉球舞踊や総持寺など、鶴見ならではのイベントについても、共催で実現させた。 (渡邊委員) 人材確保が難しいという話があったが、人材の定着率はどうか。 (指定管理者) 今、具体的な数値は持ちあわせていない。10年には達しないが、5年程度は勤続しているスタッフが多い。 (渡邊委員) 港北区民文化センターミズキーホールや、オープン予定の都筑区民

	<p>文化センターボッシュホールへの対策はあるか。</p> <p>(指定管理者) 現在既にミズキーホールとは競合している実感がある。対策として、広告宣伝に力を入れていきたい。また、若い世代をターゲットにSNS、特にインスタグラムによる発信に力を入れていきたい。</p> <p>(坂田委員) 設備の不具合が顕著とのことだが、修繕の計画はあるか。</p> <p>(指定管理者) 電気設備は10年程度で不具合が出るため、随時バッテリーの交換等を実施している。現在は拡張席の不具合が課題であり、修繕の見積書を取得中である。</p> <p>(坂田委員) 新しい施設に対抗するには、修繕は重要だと思う。</p> <p>(名須川委員) ダンスの利用者からホールのステージが滑りやすいというご意見を聞いた。何か対策はできないか。</p> <p>(指定管理者) ホールごとに特徴はあるとともに、履物の素材によっても異なるため、事前にご相談いただき、対応を検討させていただきたい。ご利用前にご見学いただくことも可能。</p> <p>(伊藤委員) 全体的にB評価が多いが、もっとA評価が多くても良いと思う。なぜ、B評価にしたのか。</p> <p>(指定管理者) 選定の際に提案させていただいた内容と比較し、達成できていない部分がある項目は、B評価とした。</p> <p>(杉山委員長) 最近はインターネットによる演奏会の配信もあるが、スマートフォンなどで聞いても本来の音楽が聴けないのではないかと思う。ギャラリーの稼働率が低いということなので、ギャラリーにおいて良質なスピーカーや映像機器を使用した企画を行っても良いと思う。</p> <p>(指定管理者) 頂いた御意見を参考にさせていただきたい。</p> <p>指定管理者は退室。</p> <h2>2 総評作成</h2> <p>(坂田委員) 代表企業の神奈川協立の財務状況について、流動比率は問題なく、長期借入金を考慮しても問題はない。また構成企業のハリマビシステムも同様に流動比率等を見ると良い状況である。令和4年度より5年度の方がさらに良い状況であるので、今後も問題ないのではないかと思う。</p> <p>(伊藤委員) 区役所の行政評価にB評価が多いのはなぜか。</p> <p>(事務局) 日頃から区役所への報告、連絡、相談を含め、適切に施設運営をさせていただいているが、提案書と比べると実施できていない部分があるため、B評価が多くなっている。ただし、コロナ禍を経て、提案通り実施することはそもそも難しかった部分もあると考える。</p> <p>(渡邊委員) 確かに来場者数も、目標に対し実績が届いていない。</p> <p>(伊藤委員) 現指定管理期間の2年目（令和5年度）実績の数字が今回の評価と</p>
--	--

	<p>なることは確認しておきたい。また、今回はABCの3段階評価としたが、それが良かったのかどうかは今後の検討課題としたい。</p> <p>(伊藤委員) 特にギャラリーはガラス張りであり、施設の入口付近にあるため、工夫して貸館の利用率を向上させるか、もしくは自主事業の実施により活用することで、施設全体の賑わいを増すことができるのではないか。</p> <p>(伊藤委員) 区民ソポーターの活用やサルビアホール利用者の会については、あまりはっきりとした成果が見えなかった。また、まちなかパフォーマンスなども未実施となっているため、その点は評価が難しい。</p> <p>(事務局) ときめきコンサートは学校側の受入れの課題もあり、お断りされたと聞いている。学校から施設の方に来ていただくのは難しいが、施設側がコーディネートして、学校にアーティストを派遣する事業に取り組んでいる。ただし、この事業も提案時の目標値には達していない。また、新たに子どもたちが企画段階からイベントに携わることができる「こども企画委員」事業を実施いただいた。次世代育成事業として、今後も実施していただきたいと思っている。さらに、アーティストバンクについては、クラシックに限らず、鶴見らしく幅広いジャンルで募集をしており、工夫が見られる。</p> <p>(伊藤委員) 人材育成という面で、こども企画委員やアーティストバンクは大変評価できるが、アウトリーチについては、より力を入れていただきたい。</p> <p>(杉山委員長) 現在はスマートフォンで簡単に個展などにアクセスができるため、わざわざギャラリーに足を運ぶ機会が少なくなっているように思う。オンラインで一つ一つの作品をじっくり見るだけでなく、その解説も見ることが可能となっている。</p> <p>(伊藤委員) ギャラリーは貸館事業が多いと思うが、多様な利用を開発するためには演奏者やダンサーを招いたワークショップなどの自主事業も積極的に行っていただきたい。また、鑑賞型事業として、最近は子ども、高齢者、障害者向けの事業が多すぎる印象もある。評価の高い音楽ホールを活かした鑑賞事業もより多く実施してほしい。</p> <p>(伊藤委員) 鶴見らしい、沖縄や総持寺に関連したイベントを実施するなど、工夫を行っていると思う。この点について、区役所の見解を伺いたい。</p> <p>(事務局) 提案時の目標が高いため、達成できていない部分はあるが、区の事業にも積極的にご協力いただいているとともに、様々なつながりを生かした企画を実施していただいている。鶴見国際交流ラウンジや鶴見中央コミュニティハウスとの連携も大変良いと思っている。</p> <p>(伊藤委員) コロナ禍の経験を今後に継承できるよう、記録に残していただきたい。</p>
--	---

	<p>(伊藤委員) 収支に関する評価はまとめて行う方が良いと思う。ギャラリーの利用率は、「使命1」の項目で評価しているため、ここでは評価しなくて良いと思う。次回の第三者評価でも、重複して評価することのないよう工夫した方が良い。</p> <p>(伊藤委員) 「5 その他」の項目についても、区役所の見解を伺いたい。</p> <p>(事務局) Wi-Fi の設置や SNS の積極的な活用、ホールの天井改修時に行った公会堂との連携事業については特に評価したい。しかし、細かい点だが、提案時にあった発注に係る市内中小企業のリスト化など、達成できていないものはある。</p> <p>(渡邊委員) 基本的には状況が変化する中でも工夫を凝らしながら施設運営を行っていただいていると思う。</p> <p>(伊藤委員) 提案時の内容があまりにも豊富であったが、限られた職員で実施するための対策を検討していただきたい。</p> <p>(杉山委員長) 業務評価報告書については、本日の委員の意見を踏まえ事務局で案文を作成し、各委員に確認した後、区長に報告及び公表することとする。</p>
資料 特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1) 令和6年度横浜市鶴見区民文化センター指定管理者業務評価表（指定管理者自己評価・行政評価済み、各委員コメントの事前記入あり）</p> <p>(2) 指定管理者への質問事項の一覧表</p> <p>(3) 評価基準の一覧表</p> <p>(4) 令和6年度横浜市鶴見区民文化センター指定管理者業務評価報告書（素案）</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、令和8年3月中旬から下旬頃に開催予定。</p>